

第 5 回 網走 開発建設部 総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	平成 20 年 6 月 26 日 (木) 網走開発建設部 第 1 会議室	
委員	大島俊之 (北見工業大学教授)、高橋 清 (北見工業大学准教授)、 辻 修 (帯広畜産大学准教授) (五十音順)	
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 19 年度総合評価落札方式の実施工事について 2 平成 20 年度総合評価落札方式の実施予定工事について 3 総合評価落札方式実施状況について 4 個別審議対象工事一覧について 5 平成 20 年度総合評価落札方式実施予定工事の事前審査について 6 平成 19 年度総合評価落札方式実施工事の事後審査について 	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		
	意 見・質 問	回 答
	<p>【平成 19 年度総合評価落札方式の実施工事について】</p> <p>特になし。</p> <p>【平成 20 年度総合評価落札方式の実施予定工事について】</p> <p>特になし。</p> <p>【総合評価落札方式実施状況について】</p> <p>入札で評価値が同じ値になったときはどうやって落札者を決定するのか。</p> <p>今年度は、昨年度より価格が高い者と低い者が加算点により逆転するケースが 2% から 9% に増えたということであるが、逆転率については、何パーセントくらいが適切と考えるか。</p> <p>【個別審議対象工事一覧について】</p> <p>【平成 20 年度総合評価落札方式実施予定工事の事前審査について】</p>	<p>くじ引きで落札者を決定する。</p> <p>逆転の率については、何%を適切というのか難しいが、技術的な面を重視して考案された制度であることを踏まえれば 2% は低すぎると考えて、昨年度末の見直しに反映した。</p>

<p>1 一般国道238号興部町瑠椽橋上部工事 (標準型)</p> <p>標準型の入札説明書の記述について、技術提案を求める内容が競争参加業者に理解されにくいと前回指摘したが、これについて何か工夫したのか。</p> <p>2 常呂川改修工事の内無加川左岸河岸保護工事 (簡易型)</p> <p>特になし。</p> <p>【平成19年度総合評価落札方式実施工事の事後審査について】</p> <p>1 網走港波除堤B部建設工事 (簡易型)</p> <p>施工計画の評価については、事前に評価ポイント(模範解答的なもの)を決めているのか。</p> <p>総合評価の加算点については、どの程度情報公開を行っているのか。</p>	<p>技術提案を求める項目について、以前よりも細分化して具体的に示すよう工夫した。</p> <p>加算対象とする想定項目を念頭において、提案された技術的所見等を吟味し、工夫があると認められる記述の項目をリストアップした上で評価点を決定している。今後、事前に評価の着目点等を具体的に整理することを検討したい。</p> <p>「施工計画」、「企業」、「配置予定技術者」など評価項目ごとの加算点を、落札後に公表している入札順位証明書に記載している。</p>
---	---